

本年度の 研究の概要

平成31年4月2日(火)
職員会議終了後から30分

研究計画担当
菊池 勇希

今日の研修のゴール

1

ゴール

研究の全体像がイメージできる

挑戦

研究の全体像をイメージし、
説明したり、教えたりできる

2019/6/27

お話をさせていただくこと

研究主題について

目指す子ども像について

研究仮説・研究内容について

研究計画について

「南小スタイル(仮)」について

2019/6/27

お話をさせていただくこと

研究主題について

目指す子ども像について

研究仮説・研究内容について

研究計画について

「南小スタイル(仮)」について

2019/6/27

子どもたちが生きる時代

2

- ・生産年齢人口の減少
- ・グローバル化の進展
- ・絶え間ない技術革新 等



予測が困難な時代
厳しい挑戦の時代

2019/6/27

学校教育に求められること

3

子どもたちが様々な変化に向き合い、

他者と協働して課題を解決する能力

様々な情報を見極め、知識の概念的な理解を
実現し、情報を再構築するなどして、新たな価値
につなげていく能力

複雑な状況変化の中で目的を再構築する能力

の育成が求められている。

2019/6/27

学校教育に求められること 3

子どもたちが様々な変化に向き合い、

他者と協働して課題を解決する能力

様々な情報を見極め、知識の概念的な理解を実現し、情報を再構築するなどして、**新たな価値**につなげていく能力

複雑な状況変化の中で**目的を再構築**する能力

「**生きる力**」の育成が求められている。

2019/6/27

育成を目指す資質・能力 4

学びを人生や社会に生かそうとする
学びに向かう力・人間性等の涵養

どのように社会・世界と関わり、
よりよい人生を送るか

「確かな学力」「健やかな体」「豊かな心」を
総合的にとらえて構造化

何を理解しているか
何ができるか

生きて働く
知識・技能の習得

理解していること・でき
ることをどう使うか

未知の状況にも対応できる
思考力・判断力・表現力等の育成

2019/6/27

主体的・対話的で深い学び 5

【主体的な学び】

学ぶことに興味や関心を持ち、自己のキャリア形成の方向性と関連付けながら、見通しを持って粘り強く取り組み、自己の学習活動を振り返って次につなげる「**主体的な学び**」が実現できているか。

【例】
・ 学ぶことに興味や関心を持ち、毎時間、見通しを持って粘り強く取り組みとともに、自らの学習をまとめ振り返り、次の学習につなげる
・ 「キャリア・パスポート（仮称）」などを活用し、自らの学習状況やキャリア形成を見通したり、振り返ったりする

主体的な学び
対話的な学び
深い学び

学びを人生や社会に
生かそうとする
学びに向かう力・
人間性等の涵養

生きて働く
知識・技能の
習得

未知の状況にも
対応できる
思考力・判断力・表現力
等の育成

【対話的な学び】

子供同士の協働、教職員や地域の人との対話、先達の考え方を手掛かりに考えること等を通じ、自己の考えを広げ深める「**対話的な学び**」が実現できているか。

【例】
・ 実社会で働く人々が連携・協働して社会に見られる課題を解決している姿を観たり、実社会の人々の話を聞いたりすること
・ 多岐にわたる個人で考えたことを、意見交換したり、議論したりすることなど新たな考え方に気が付いたり、自分の考えをより妥当なものとする
・ 子供同士の対話に加え、子供と教職員、子供と地域の人、本を通して本の作者などとの対話を図る

対話的な学び

【深い学び】

習得・活用・探究という学びの過程の中で、各教科等の特質に応じた「見方・考え方」を働かせながら、知識を相互に関連付けてより深く理解したり、情報を精査して考えを形成したり、問題を見いだして解決策を考えたり、思いや考えを基に創造したりすることに向かう「**深い学び**」が実現できているか。

【例】
・ 事象の中から自ら問いを見いだし、課題の探究、課題の解決を行う探究の過程に取り組み
・ 精査した情報を基に自分の考えを形成したり、目的や場面、状況等に応じて伝え合ったり、考えを伝え合うことを通して集団としての考えを形成したりしていく
・ 感性を働かせて、思いや考えを基に、豊かに意味や価値を創造していく

2019/6/27

昨年度までの成果 6

研究主題

できた！わかった！を実感できる授業改善

成果

- ・ 単元及び1時間の目標を意識した授業づくり
- ・ 子どもの問題解決を促す「型のある授業」の定着
- ・ 授業や学級経営の土台となる「南小スタイル」の定着

教師の指導力の向上

2019/6/27

昨年度までの課題 7

研究主題

できた！わかった！を実感できる授業改善

課題

- ・ 目的が明確でない対話や振り返り
- ・ 対話を通した考えの広がりや深まり
- ・ 習熟、振り返りの時間の確保

子どもの姿を大切に

2019/6/27

今年度の方向性 8

成果

継承する研修

- ・ 単元及び1時間の目標を意識した授業づくり
- ・ 子どもの問題解決を促す「型のある授業」の定着
- ・ 授業や学級経営の土台となる「南小スタイル」の定着

課題

発展させる研修

- ・ 目的が明確でない対話や振り返り
- ・ 対話を通した考えの広がりや深まり
- ・ 習熟、振り返りの時間の確保

2019/6/27

研究主題について 9

昨年度の研究主題
できた！わかった！を実感できる授業改善

研究で目指す具体的な
子どもの姿として

今年度の研究主題
**進んで学び、協力して
課題を解決する子どもの育成**
～見通し・振り返りの充実と教師の働きかけの工夫を通して～

2019/6/27

主題についての共通理解 10

**進んで学び、協力して
課題を解決する子どもの育成**

進んで学び
⇒課題意識や必要感をもち、主体的に学習に関わる姿

協力して課題を解決する
⇒自分の考えをもち、伝え合う姿
⇒考えを広げ深めて、個人や全体の課題を解決する姿

2019/6/27

お話をさせていただくこと

研究主題について

目指す子ども像について

研究仮説・研究内容について

研究計画について

「南小スタイル(仮)」について

2019/6/27

目指す子ども像について 11

課題意識や必要感を
もって進んで学ぶ子

自分の思いや考えを
伝え合い、学び合う子

研究主題の達成

自らの成長や他者と学ぶ価値を自覚する子

2019/6/27

目指す子ども像① 12

**課題意識や必要感をもち
進んで学ぶ子**

課題意識
必要感

やってみたい！
できるようにになりたい！

スタートの姿

ゴールの姿

2019/6/27

目指す子ども像② 13

**自分の思いや考えを
伝え合い、学び合う子**

考えを
生み出す

考えの広がり

考えの深まり

2019/6/27

目指す子ども像③

14

自らの成長や 他者と学ぶ価値を自覚する子

積み重ねることでより確かなものに！



お話させていただくこと

研究主題について

目指す子ども像について

研究仮説・研究内容について

研究計画について

「南小スタイル(仮)」について

2019/6/27

研究仮説・内容について

15



研究仮説・内容①

16

目指す子ども像①

課題意識や必要感をもって進んで学ぶ子

研究仮説①

単元または1時間の目指す姿の明確化によって、子どもが進んで課題解決に取り組むことができるだろう。

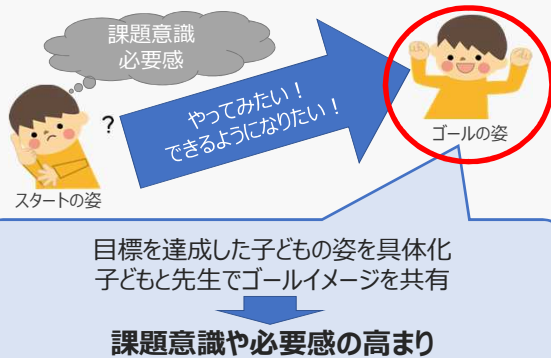
研究方法①

「目指す姿(ゴール)」の具体化・提示

2019/6/27

研究内容①について

17



研究仮説・内容②

18

目指す子ども像②

自分の思いや考えを伝え合い、学び合う子

研究仮説②

考えの形成や対話を促す教師の働きかけによって、子どもが思いや考えを伝え合い、学び合う力を高められるだろう。

研究方法②

自分の考えをもたせる工夫
話し合いを促すための工夫

2019/6/27

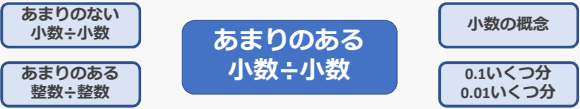
研究内容②について

19

自分の考えをもたせる工夫



学習コーディネーター



既習とつないで考えを形成 (補充的な指導の充実)

2019/6/27

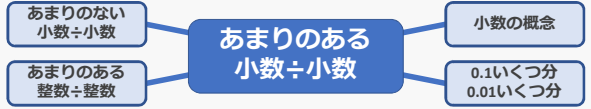
研究内容②について

20

話し合いを促すための工夫



学級ファシリテーター



話し合いを通してどう繋ぐか (話し合いの見える化・構造化・合意形成)

2019/6/27

研究仮説・内容③

21

目指す子ども像③

自らの成長や他者と学ぶ価値を自覚する子

研究仮説③

自己評価や学習履歴などの振り返りを行うことによって、子どもが自らの成長や他者と学ぶ価値を自覚できるだろう。

研究方法③

振り返りシートの活用

2019/6/27

研究仮説・内容③

22

振り返りシートの活用

2019/6/27

研究仮説・内容③

22

振り返りシートの活用

2019/6/27

積み重ねることでより確かなもの!

お話をさせていただくこと

研究主題について

目指す子ども像について

研究仮説・研究内容について

研究計画について

「南小スタイル(仮)」について

2019/6/27

研究計画（3年分）

23

1年次（H31年度） 施行期	2年次（H32年度） 修正・改善期	3年次（H33年度） 発展期
○研究主題の設定 ○研究内容の検討と共通理解 ○南小スタイルの日常実践 ○学習指導案の作成 ○算数・外国語（外国語活動）における授業・単元づくり ○研究結果の整理と2年次研究の方向性	○2年次の重点の設定 ○研究内容の修正と検証 ○南小スタイルの改善と実践 ○算数・外国語（外国語活動）における授業・単元づくり ○新たな教科・領域への展開 ○研究結果の整理と3年次研究の方向性	○3年次の重点の設定 ○研究内容の再検討と検証 ○南小スタイルの改善と実践 ○様々な教科・領域に適應できる授業・単元づくり ○1単位時間、単元構成の工夫 ○研究全体のまとめと新研究の方向性

2019/6/27

お話をさせていただくこと

研究主題について

目指す子ども像について

研究仮説・研究内容について

研究計画について

「南小スタイル(仮)」について

2019/6/27

これまでの「南小スタイル」 24

研究主題

目指す子ども像

研究仮説・研究内容

各教科・領域等の学習過程・指導方法

指導の土台として「そろえる」部分

南小スタイル

2019/6/27

「南小スタイル(仮)」のおさえ 25

研究主題

目指す子ども像

研究仮説・研究内容

各教科・領域等の学習過程・指導方法

指導の土台として「そろえる」部分

南小スタイル

2019/6/27

「南小スタイル(仮)」のおさえ 26

南小スタイル

指導の土台として「そろえる」部分

研修部 「授業づくり（流れ、板書、ノート）」
 教務部 「学習の約束」、「教室環境」、「持ち物」
 生徒指導部 「生活の約束」、「Q-Uの活用」
 支援部 「特別支援教育の推進」
 保健体育部 「南小ルーティーン」

どの子ども学びやすいように

2019/6/27

お話をさせていただくこと

研究主題について

目指す子ども像について

研究仮説・研究内容について

研究計画について

「南小スタイル(仮)」について

2019/6/27

ゴール

研究の全体像がイメージできる

挑戦

**研究の全体像をイメージし、
説明したり、教えたりできる**

2019/6/27

小さなことを
多く積み重ねることが、
とんでもないところへ
行くためのただ1つの道



数多くの**日常実践**が
地域連携研修の**基盤**

2019/6/27

